

子育て支援事業の最大手 JP ホールディングス（証券コード 2749）

オンライン企業訪問を通じて大学生・高校生のキャリア学習を支援 ～未来を担う子どもたちが、職業や将来のキャリアについて考える機会を提供～

子育て支援事業最大の JP ホールディングスグループは、CSR 活動の一環として、未来を担う子どもたちのキャリア教育支援を行っています。

このたび当社では、7月27日（火）に、高崎経済大学・高崎市立高崎経済大学附属高等学校（共に群馬県高崎市）の大学生2名・高校生7名の企業訪問をオンライン会議形式で受け入れました。新型コロナウイルス感染症の拡大によって従来の職場体験や企業訪問の開催が困難になっている中、学生たちに向けてオンラインを活用し、子育て支援業界の動向や当社グループの取り組みを紹介することで、職業や将来のキャリアについて考える学習の機会を提供しました。

◆大学生・高校生9名のオンライン企業訪問を受け入れ◆

今回のオンライン企業訪問は、高崎経済大学と高崎経済大学付属高等学校による「高大連携事業」の探究活動の一環で実施されました。当社は「将来を担う学生に、子育て支援業界の動向や保育士を取り巻く環境を知ってもらうことで、職業や将来のキャリアについて考えるための企業研究に役立ててほしい」「コロナ禍における学生たちの学びを応援したい」という思いのもと、オンライン形式の企業訪問を開催しました。



【オンライン企業訪問 当日の様子】

当日は、当社の東京本部オフィスと高崎経済大学・高崎経済大学付属高等学校の各教室をオンライン会議システムで繋ぎ、大学生の進行のもと、当社から JP ホールディングスグループの説明や子育て支援業界・当社を取り巻く環境を解説したのち、学生から質問を受け付け回答しました。

学生からは、子育て支援業界に関する質問の他、保育士の労働環境に対する当社の取り組み事例などについて質問がなされ、当初の予定時間を超える活発な質疑が交わされました。企業訪問を終えた学生たちからは、「私の知る『保育園』のイメージを超えた他企業との提携や事業展開の工夫がなされていることを知り驚いた」「今後は、より子どものための事業を展開する保育園が求められるのだと思った」といった感想が届き、充実した学びに繋がっていました。

学生たちは今後、9月7日（火）に予定されている発表会に向け、企業研究を進めます。当社は、引き続き情報提供や質問への返答を通じて、研究のサポートを行います。

JPホールディングスグループは、「子育て支援を通じて笑顔溢れる社会づくりに貢献します」をグループ経営理念に掲げ、303の子育て支援施設を運営しています。今後も様々な活動を通して、こどもたちの未来を育てまいります。

■株式会社 JP ホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業（東証1部上場・証券コード2749）です。運営施設数はグループ全体で303施設となります（2021年4月1日現在）。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究などを行う株式会社日本保育総合研究所などがあります。

詳細はこちら（<https://www.jp-holdings.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部

広報IR部 都志・牛田・筒場

TEL：03-6433-9515 FAX：03-6455-8032

MAIL：jpohd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>